

「愛し愛される病院」を

朝雲流れて
金色に照り

戸田中央医科グループ創設者
中村隆俊の半生

隆俊は2012(平成24)年8月、戸田中央総合病院の50周年記念誌にこう書いた。「振り返る」と、本日この日を迎えるまでには幾多の難局があり一言では申し尽くせません。ただ不変なことを言えば『懸命に働く』ことを地道に積み重ねてきたことです。開院当時は『黒船来航』と地元医師会からは非難され、艱難辛苦のスタートでした」

「少年よ大志を抱け、この言葉のそのあとを知っていますか。『Boy s be ambitious like a man』(私のごとき老人のように)と言ったんです。これが大事だ」と隆俊。最近「私は生涯現役、そして生涯独身」と軽口

訪れてきた。最近、隆俊はベッドで母校北大の寮歌のCDを聞きながら、低く声を出

本部職員に囲まれる中村会長(前列中央)。背景に写る「愛し愛される病院」が引き継がれていく。2015年1月



使命継承に確信

【第9話】

をたたき、若い女性看護師たちを笑わせる。興に乗ると初恋の話もしたりする。3兄弟が牛込矢来町に住んでいたころ、東京芸大の学生に一目惚れした。返子でデートし、母にも引き合わせた。しかし駄目だった。隆俊は「あのころ、兄弟3人で板橋の病院をつくるのが最優先で、そちらに一生懸命だったから私も諦めた」と言う。2年前、いろいろな縁がつながり、その人と再会。いま、その人は月に一度、グループ傘下の老健施設で音楽セラピーを開いてくれている。

現在、兄哲夫(07年没)の板橋中央医科グループ(イムス)、弟秀夫の上尾中央医科グループ(AMG)を合わせた医療グループは日本最大級に。中村3兄弟が互いに協力しながら幾度となく困難を乗り越えてきた結果である。

3人の背中を見てきた息子たち、そして1万3414人(3月現在)に及ぶ戸田中央医科グループ(TMG)のスタッフたちが「愛し愛される病院」を引き継ぎ、グループのこれからの50年をつないでいってくれると、隆俊は確信している。(敬称略) 〓おわり〓

この連載は依田英男、岸鉄夫、中野えみりが担当しました。